

## 協定校留学帰国報告書

|           |  |
|-----------|--|
| 記入日       | 2017年 9月 1日                                |
| 所属        | 教育学部情報文化課程生活デザインコース                        |
| 学年        | 4年次  |
| 留学先大学     | ペンシルバニア州立大学                                |
| 留学開始・終了時期 | 2016年 8月 ~ 2017年 5月 (留学開始時期 年次)<br>( 9 カ月) |

### 1. 留学前について

|  |  |
|--|--|
| ① 海外留学しようと思った理由は何ですか                           | 私は将来英語教師になりたいと考えており、その際に、アメリカ英語が実際に話されているアメリカにおいてどのような慣習が存在するか、また、どのような体験をすることになるか等を生徒に伝え、生徒の興味関心を掻き立てるような授業を展開したいと思ったため、さらには、今まで海外に行ったことがなかったため自身の見聞を世界レベルで広めたいと思ったためである。   |
| ② この協定校に決めた理由を教えてください。                         | 上記の通り、アメリカ英語が実際に飛び交う場所であるアメリカという国へ留学したいと当初から考えていたこととペンシルベニア州立大学には既に仲の良いアメリカ人の友達に通っていたためという理由が相まって、ペンシルバニア州立大学に決めた。   |
| ③ TOEFL の受験対策など、語学の準備はどのようにしましたか。              | TOEFL の受験対策として準備したことはこれといっはなかったが、大学に入学後も毎日英語には触れていたため、これといった準備は特にしていなかった。しかし受験時リスニングにおいて苦戦を強いられたため、普段から英語に耳を慣らしておく方が良いのではないだろうか。また、スピーキングに関しては大学で ESS (English Speaking Society) という英会話サークルに所属しており週に 2 回程度、2 時間ほど英語を話す機会はあったため全く話せないということはなかった。  |
| ④ 単位や教職、就職活動等に関して、留学前にしておいたほうが良いことがあれば教えてください。 | 私は教師を目指しているため就職に関しては疎いため就職活動に関しては発言を控えさせていたきたい所存であるが、単位に関しては交換留学の強みである単位認定制度を用いてアメリカの大学で取得した単位を茨城大学における内容が同等の授業の単位として取得可能なため真面目に授業を受け取るべき単位数を留学前に取得しておけば 4 年で卒業できると思う。私の場合は教育実習等の関係で 1 年卒業が遅れてしまうこととなったが。また、留学前に受けておくべき授業として茨城大学におけるオールイングリッシュの授業（例えば、瀬尾先生による “Japanese Pop Culture” という授業）を推奨する。特に、例に挙げた授業には茨城大学に在学する留学生や交換留学生が参加しており、彼らとともにディスカッションをしながら進んでいく授業のため、生きた英語に日本にいながら触れることができる。それだけにとどまらず同時に自分の国について学 |

|  |
|--|
| <p>ぶことが可能である。これはアメリカに行った際、いろいろな人に日本について聞かれるため、その際にとっても有益である。事実、何度も日本について様々な質問を受けたが正確に答えられたことは数少なかったため、私と同じような苦い経験をしてほしくないという願いを込め、もう一度強く言わせて欲しい。自分の国に関する知識を蓄えておいてください。</p> |
| <p>⑤ どのような保険に加入しましたか。( ) に○をつけてください。</p>   |
| <p>a. 留学先大学が指定した保険 ( )</p> <p>b. 個人の保険のみ ( ○ )</p> <p>c. 大学指定の保険と個人保険の両方 ( )</p>   |
| <p>⑥ 予防接種は必要でしたか。( ) に○をつけてください。</p>   |
| <p>a. はい ( ) 具体的に：</p> <p>b. いいえ ( ○ )</p>   |

## 2. 留学先での勉強について

|   |
|---|
| <p>① 留学先で履修した科目名、時間数、授業内容についてなるべく詳しく教えてください。</p>  |
| <p>Photo 100 週 2、各 2 時間 内容：写真の撮り方、adobe のソフトを用いて写真の加工、著名な写真家についてなど</p> <p>History 100 週 2、各 75 分 内容：1960 年代アメリカについて、それにまつわる映画鑑賞など</p> <p>Education in American Society 週 2、各 75 分 内容：アメリカにおける教育制度、代表的な教育哲学、アメリカにおくる教育機関、学校等における現状、異文化意見交流イベントへの参加など</p> <p>Education Psychology 100 週 3、各 50 分 内容：0 歳児から大人になるまでの成長過程、発達段階ごとにおける様々な理論とその応用など</p> |
| <p>② 授業履修の際に、注意したほうが良いことがあれば、なるべく具体的に教えてください。</p>   |
| <p>ご存知の方が多いかもしいないがアメリカの大学は入るのが簡単で出るのが難しいと言われてい<br/>る。毎回の授業で大量の課題が生徒たちに課され、テストも難しいためであろう。そのため自分<br/>の興味のない授業を取ってしまうとストレスにしかならない。そのため自分が本当に興味のある<br/>授業を取り、また、取りすぎないようにするべきであろう。</p>  |
| <p>③ 授業に関して、困ったこと、うまくいったこと、努力したことなど、教えてください。</p>  |
| <p>序盤はリスニングに苦戦を強いられた。そのため毎日 TED SPEECH というものを 2 時間ほど視<br/>聴することを日課としていた。3 か月くらい経つとアメリカ人の友達が話していることの 1/3 く<br/>らいは聞こえるようになった。しかし言いたいことをネイティブスピーカー複数人とのディスカ<br/>ッションの中で即座に言うということは容易でなくもどかしさを抱く日も少なくなかった。</p>   |

## 3. 留学先での生活について

|  |
|--|
| <p>① 大学がある町やキャンパスの雰囲気はどうでしたか</p>   |
| <p>「幸せの谷」と呼ばれる場所で、銃声を聞いたことは 1 度もなく、かなり平和であった。キャン<br/>パスはとても美しく、綺麗であった。とても良い雰囲気であったと言えよう。</p> |
| <p>② 留学中はどこに住んでいましたか。</p>  |

|  |
|--|
| <p>a. 寮（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）</p> <p>b. アパート（ ○ ）： 何人部屋でしたか（ 人）</p> <p>c. ホームステイ（ ）： 何人部屋でしたか（ 人）</p> <p>d. その他（ ）具体的に：</p>   |
| ③ 住環境はどうでしたか。  |
| ルームメイトに恵まれ、静かで落ち着いた快適な自分の時間を作り出せる空間であった。   |
| ④ 食事はどうしましたか。  |
| <p>a. 大学・寮のミールプラン（ ）</p> <p>b. 主に外食（ ）</p> <p>c. 自炊と外食が半々程度（ ○ ）</p> <p>d. その他（ ）具体的に：</p>   |
| ⑤ 留学先で他の留学生や現地学生とどのように交流を深めましたか。   |
| 元からいた友達をつてにつながった友達も多少いたが主に自分が属していた 2 つの団体（JFA-Japanese Friendship Association, FiGE）にいる仲間たちと交流を深めた。JFA とは日本に興味のある学生が集まり日本の文化について学んだり、ゲームをしたりするものであり、FiGE とは Global Penn State という留学生を管轄する機構が組織する団体で参加者は主に学部 1 年次、大学院 1 年次の留学生で、そこではアメリカについての文化について学んだり、それについてディスカッションをしたり、一緒にニューヨークに研修旅行に行ったりするものである。特に後者の FiGE という団体には世界各国からの生徒が集まっていたためまさに文字通り多様性の塊であり、そういった国も文化も異なる人々の考え方や慣習に触れられたことは非常に貴重なことであったと思う。 |
| ⑥ 余暇や長期休暇はどのように過ごしましたか。  |
| 感謝祭、クリスマス、イースターの長期休暇はアメリカ人の友達の家に泊めていただき彼の家族とともにアメリカならではの体験をさせていただいた。大学の授業期間における週末は友達と映画を観たり、野球をしたり、サッカーをしたりしていた。   |
| ⑦ 健康管理や危機管理で注意したことについて、アドバイスがあれば具体的にお願いします。  |
| 冬場は雪が積もり、路面が凍結するため防寒と足元に気をつけたほうが良いと思う。   |
| ⑧ 文化、習慣、宗教の違いなど、生活全般（衣食住）に関するアドバイスがあればお願いします。  |
| 自分の主張はしっかりと伝えるべきであると思う。感情表現も豊かにするべきである。また、バスに乗っているとたまに宗教勧誘を試みようとしてくる人がいるが、日常会話をした後パンフレットのようなものを渡されるだけでおわるはずなので、さほど身構えなくていいと思う。大都市には募金をせがんでくる人がいるが決して大金を渡すべきではない。衣類に関してはアメリカではラフな格好でいたほうが良いかもしれない。  |

#### 4. 留学費用について(差支えない範囲でお答えください)

|                          |         |   |
|--------------------------|---------|---|
| 渡航費(往復の航空運賃)             | 250,000 | 円 |
| 保険代(旅行保険・留学先大学で加入する保険など) | 150,000 | 円 |

|                    |           |   |
|--------------------|-----------|---|
| 住居費(寮費)光熱費等含む (月額) | 60,000    | 円 |
| 食費 (月額)            | 40,000    | 円 |
| その他                |           | 円 |
| 総額 (留学期間中の費用総額)    | 1,300,000 | 円 |

## 5. 今後の進路等について

|  |
|--|
| ① 卒業時期について教えてください。(わかる範囲で結構です) ○をつけてください。    |
| a. ( ) 4年で卒業予定                               |
| b. ( ○ ) 卒業は延期する予定 (延長予定期間: 1年 )             |
| ② 就職・進学のための活動について教えてください。(留学中にしたこと、留学後の予定など) |
| アメリカにおける教育や教育心理について学んだ。                      |

## 6. 留学について

|   |
|---|
| ① 留学を終えての感想を教えてください。  |
| 辛い日も少なくはないが、全体を通して非常に有意義な時間であったと胸を張って言える。   |
| ② 留学して、何が変わったと思いますか。  |
| アメリカで世界各国からの様々な人々と出会い、多様な価値観と出会い、視野が広がった。また、アメリカを知ることで何より日本の良さに改めて気が付いた。さらに、自分が人種的にマイノリティになるという経験をしたがそれでも多くの人々は私を同じ一人の人間として接してくれた。そこで気が付いたことはこの世界には人種など存在していない、我々は皆、人間という種類なのだと。アメリカで得た最も重要なものは人間を外見や出身国で判断するのではなく皆を同じ「人間」として分け隔てなく接していこうという姿勢なのかもしれない。 |
| ③ 留学を考えている人へのメッセージをお願いします。  |
| 留学は確かに莫大なお金を要する。しかし日々、新しい発見があり、成長があり、時に葛藤もあるがその先には見たことのない自分との対峙がある。留学はお金では決して買うことのできないものを与えてくれて、あなたの人生をより豊かにしてくれる。迷っているのであれば、ぜひ、文字通り「何万歩よりも距離のある一歩」を踏み出してみしてほしい。  |